

（仮称）旧上瀬谷通信施設公園における新しい公園計画検討業務委託 業務説明資料

1 適用

本業務説明資料は（仮称）旧上瀬谷通信施設公園における新しい公園計画検討業務委託（以下、「本業務」という。）に適用する。

2 準則

本業務の実施に当たっては、本業務説明資料のほか、横浜市の設計・測量等委託契約約款及び契約規則を遵守することとする。

3 履行期間

契約締結日から令和 8 年 3 月 31 日まで

4 委託対象概要

- (1) 公園名称 : （仮称）旧上瀬谷通信施設公園（以下、「本公園」という。）
- (2) 所在地 : 瀬谷区瀬谷町7449番 5 地先
- (3) 公園面積 : 約65ha

5 業務目的

本公園は、GREEN×EXPO 2027の会場跡地に整備される広域公園である。

本事業では、GREEN×EXPO 2027の開催に向け、会場の基盤ともなる、将来の公園に必要なインフラや植栽等の一次整備を進める傍ら、GREEN×EXPO 2027開催後に策定を予定している、GREEN×EXPO 2027の理念や取組を踏まえた新しい公園の計画（以下、「新公園計画」という。）の検討を進めている。

新公園計画の策定に向けては、令和 6 年 3 月に基本的な視点や取組テーマとなる「環境」と「防災」、スケジュールなどをまとめた構想骨子を策定し、令和 7 年度には構想骨子及び次世代を担う市民・活動団体・企業等（以下、「市民等」という。）との対話も踏まえた構想をとりまとめる予定である。

本業務は、本公園の特徴（GREEN×EXPO 2027に向けた基盤整備、GREEN×EXPO 2027の理念や取組を踏まえる、「横浜市地震防災戦略（令和 7 年 3 月改定）」（以下、「地震防災戦略」という。）に基づく広域防災拠点としての機能発揮、長期計画に伴う部分開園、環境影響評価、公民連携等）により生ずる前提条件等※（以下、「前提条件等」という。）を踏まえ、新公園計画の素案を作成することを目的とする。

※『補足資料』を参照

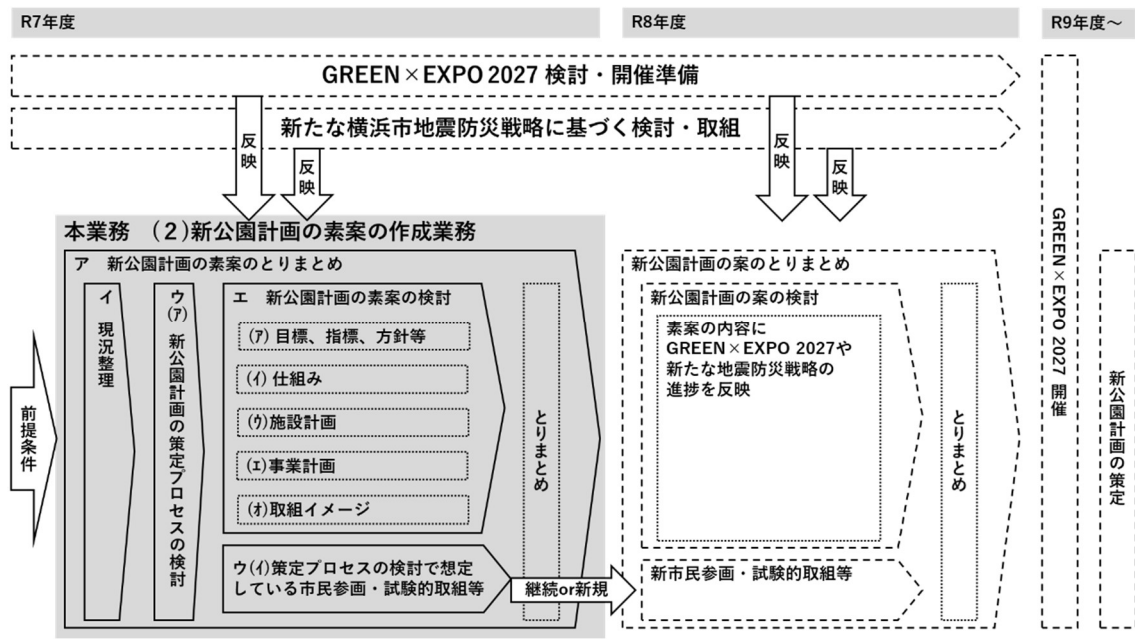


図1 新公園計画の策定の流れイメージ

6 業務内容

(1) 業務計画書の作成

業務内容、体制、スケジュール等を記載した業務計画書を作成する。業務体制の作成にあたっては、想定されるプロジェクトごとに連携先等を記載すること。

(2) 新公園計画の素案の作成

ア 新公園計画の素案のとりまとめ

新公園計画の素案には、以下の①～⑥の項目の内容を含むものとし、基本計画相当の記載内容を想定している。

素案の作成にあたっては、前提条件等を踏まえるものとする。

素案の作成に向けては、**イ～エ**の実施内容を踏まえた上で、とりまとめに必要な検討を行うこと。

なお、新公園計画の素案の①～⑥の項目のまとめ方については、**ウ、エ**の検討を踏まえ、委託者と協議の上、決定すること。

新公園計画の素案の内容

- ① テーマ、コンセプト等（「環境」と「防災」）
- ② 目標、指標、方針等
 - ・ テーマやコンセプトを具現化、具体化するための考え方や基準等
- ③ 仕組み
 - ・ 市民等との対話を行いながら、市民等のニーズを反映しつつ公園の整備や管理運営を進めていく仕組み
 - ・ その仕組みを実行するプロセス等
- ④ 施設計画
 - ・ 主な施設の施設計画
 - ・ 既存インフラや生物生息環境等の基盤の情報を踏まえ、施設の配置を含む平面プラン
- ⑤ 事業計画（段階整備、部分開園）
 - ・ 年度別の整備平面プランおよび整備スケジュール
 - ・ 事業計画説明書（部分開園・暫定利用、整備手法、管理運営手法、概算事業費・管理費）
- ⑥ 取組イメージ
 - ・ どのように取組が行われるのか具体化、試験的取組の企画及び実施成果、次年度の実施計画
 - ・ ④の平面プランにソフトの展開イメージを加えまとめたもの
 - ・ 全体イメージパース（A3 判 1 枚程度）

イ 現況整理

過年度に実施した本公園の検討結果の確認、及び「ネイチャーポジティブ」、「カーボンニュートラル」、「サーキュラーエコノミー」、「GREEN×EXPO 2027」等の「環境」に関する最新の世界・日本・横浜の潮流や考え方、目標等の事例収集を踏まえた調査、並びに「地震防災戦略」等の「防災」に関する過年度成果からの更新内容の整理等、新公園計画の検討に必要なこれまでの経緯と現況の整理を行う。

ウ 新公園計画の策定プロセスの検討

ア) 策定プロセスの検討

新公園計画は、市民等との対話を行いながら、市民等のニーズを反映していく検討の過程に重きを置いている。このため、戦略をもって検討を進めるため、新公園計画の策定までのプロセスを検討する。

策定プロセスは、市民等との対話の反映などの市民参画や試験的取組等を取り入れた策定プロセスを検討すること。

なお、市民参画や試験的取組等を取り入れる部分やその範囲については、前提条件等を踏まえ、策定プロセスの検討の中で設定すること。

(イ) 策定プロセスの検討で想定している市民参画及び試験的取組等の実施

策定プロセスの検討を踏まえ、市民参画及び試験的取組等を実施する。

実施する市民参画及び試験的取組等の想定を下記に示す。当該項目は、策定プロセスの検討によって、効果的な参画や取組の内容が変わることが想定されるため、策定プロセスの検討に伴う内容の変更がある場合については、委託者と協議し決定すること。

(市民参画及び試験的取組等の実施想定)

「環境」や「防災」に関する市民の行動変容を促進するための新しい公園での取組や活動のアイデアを具体化していくために、試験的取組を実施する。

令和6年度の対話の内容等を踏まえ、試験的取組の方向性をまとめた上で、下記の実施計画を作成し、実施（準備・当日運営・結果のとりまとめ）すること。

(i) イベントの実施（2日間×1回を想定）

- ・イベントの実施計画を作成する（コンセプト、運営方法、会場デザイン、イメージスケッチ等）
- ・実施計画については市の指定する団体（5～10名×3団体想定）との意見交換（1団体につき2～3回程度）を踏まえて決定する。（意見交換についてはオンラインまたは市役所会議室を想定）
- ・イベントを実施するために必要となるすべての費用（企画参加者への謝金、会場費用、会場設営、備品等の準備）は、契約代金に含まれるものとする。
- ・会場規模の想定は約500～1000㎡（屋内または屋外）とし、この中に、ワークショップブース(体験等)3箇所、展示スペース3箇所程度を想定する。

(ii) 他イベント等と連携したブースへの出展等（1日×2回を想定）

- ・里山ガーデンフェスタ等の市内関連イベントへのブース出展を想定した実施計画を作成する。
- ・実施日程、場所の設定、当日の運営等は委託者及び市内関連イベントの主催者との調整を行う。
- ・ブース出展をするにあたり必要となるすべての費用（企画参加者への謝金、会場費用、会場設営、備品等の準備）は、契約代金に含まれるものとする。

エ 新公園計画の素案の検討

(ア) 目標、指標、方針等

「イ 現況整理」の整理結果及び「ウ 新公園計画の策定プロセスの検討」で検討した策定プロセスにより、新公園計画の目標、指標、方針等について検討し、設定する。

(イ) 仕組み

「ウ 新公園計画の策定プロセスの検討」や「エ(ア) 目標、指標、方針等」で検討した内容を踏まえ、市民等との対話を行いながら、市民等のニーズを反映していく公園となるよう、新公園計画の仕組みについて、公園整備の仕組みと、その仕組みを実行するプロセス等について検討し、設定する。

(ウ) 施設計画

「ウ 新公園計画の策定プロセスの検討」や「エ(ア) 目標、指標、方針等、(イ) 仕組み」を踏まえ、一次整備で整備した施設の活用も含めて、ゾーニングのパターンを（2～3 案）検討し、その中から、最有力のゾーニングを設定した上で、各施設を配置した全体の平面プランを作成する。

また、ゾーニングに影響するような主な施設（パークセンター、野球場等の運動施設（管理棟等を含む）、日本庭園、物資倉庫、ヘリ離着陸場等）の施設計画を作成する。

施設計画には、既存インフラや生物生息環境等の基盤の情報を踏まえ、各施設の基本となる考え方や基礎情報、法規及び関係規定を検討し整理し、各施設の配置を含む個別の平面プランを作成する。

(エ) 事業計画

「エ(ウ) 施設計画」で検討した全体の平面プランをもとに、新公園計画の策定から整備完了までの間の各年度の概算の事業費、管理費の試算を行うとともに、整備平面プランを検討・設定し、公園整備スケジュールをまとめる。

各年度の整備平面プランでは、整備するエリアの整備内容、整備しないエリアの管理状況、整備後の部分開園や暫定利用のエリア等を明確にするとともに、これらに向けた整備手法や管理運営手法等を踏まえた整理を行う。

(オ) 取組イメージ

過年度の対話の成果や本業務での検討プロセスの中で生じた試験的取組等の取組イメージを整理した上で、新公園計画案の内容を想起させる取組を具体例として設定する。取組の具体例が不足する場合については調査等により補填する。

また、「**エ(ウ) 施設計画**」で作成した全体の平面プランをもとに、イラスト等を用いてハード、ソフトの公園全体での展開イメージをまとめた、全体イメージパス（A3 判 1 枚程度）を作成する。

(3) 新公園計画の素案 概要版の作成

(2)の新公園計画の素案の内容をまとめた概要版資料を作成する。(A3 両面 1 枚程度) 概要版に記載する内容については委託者と協議の上、決定すること。

(4) 業務打ち合わせ等

打ち合わせは、業務着手時、中間打ち合わせ（9 回を想定）、成果納入時を想定している。

(5) 報告書とりまとめ

各業務項目における、検討結果、実施結果、プロセスを含めた検討内容等を報告書としてとりまとめる。

報告書の詳細な項目については委託者と協議の上、決定すること。

案内図・位置図



凡 例



旧上瀬谷通信施設（全体）



公園予定地